



消防団

瑞穂町消防団だより

令和5年5月

第 19 号

発行:消防団広報誌編集委員

消防団長就任にあたってのご挨拶

平素より瑞穂町消防団の活動に対し、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

4月1日付で瑞穂町消防団長に任命されました高橋一幸と申します。全力を傾注して地域防災の任にあたり重責を全うしていく所存です。近年、全国各地で地震や大型台風、集中豪雨、また、山林火災など様々な災害が発生しており、消防団の活動内容も日々変化しております。

様々な災害にも対応できるよう、福生消防署を始めとした関係機関と連携し、多種多様の訓練を積み重ね、瑞穂町の安全・安心を守ることが我々消防団の使命であると考えます。

そしてなにより、これからの瑞穂町に災害が無く、平穏でありますことを深く願います。

今後とも、関係各位のご指導・ご鞭撻をこころよりお願い申し上げます。してご挨拶とさせていただきます。

瑞穂町消防団

団長

高橋

一幸

QRコード



メールアドレス
mizuho.saigai
@mpme.jp

災害情報メール配信
町では町民へ災害や火災が発生した時にメールの配信を行っています。左のQRコードを読み取るかメールアドレスでご登録をして下さい。

～正副団長紹介～



副団長 丹生 範仁



団長 高橋 一幸



副団長 岩永 泰樹



副団長 浦野 純



副団長 高橋 洋一

広報誌編集委員

本部 浦野 純 副団長・岩永 泰樹 副団長
一分団 児玉 洋平 部長・清水 久央 部長
二分団 榎本 竜也 部長・山田 太一 部長
三分団 尾作 真一 部長・猪俣 良次 部長
四分団 濱本 賢吾 部長・鳥海 茂身 部長
五分団 関根 大介 部長・田中 寿幸 部長

消防団事務局（役場 安全・安心課内）

☎ 042 (557) 7610

本部紹介

本部は、団長1名、副団長4名、本部団員15名の合計20名で構成されており、町の安全・安心のために各種訓練、演習、広報活動を行っています。団員の年齢や職業もさまざまですが、団長の下、なんでも意見を言い合える風通しの良い環境で、活動に励んでいます。

活動時には、正副団長は現場で分団への指揮を行い、本部団員は火災であれば情報収集や周辺の交通整理、訓練であれば準備や分団のサポートを基本的に行っています。

また、令和元年度から新たな仲間として加わった女性消防団員は、応急手当や防災の知識を多くの住民の皆さまに広める広報活動をしています。町を守るため、女性の「チカラ」が消防団でも輝いています。

今後も各分団と連携を図り、消防団全体で町の安全・安心を守っていきます。

(担当 本部)



正副団長・本部団員
(本部総勢20名、うち女性団員10名)



第一分団紹介

第一分団は主に長岡地区を管轄地域としており、団員構成は、他の分団より若干年齢層が高いですが、高い練度と堅実性があります。火災や災害が起きた際、地域住民の方々の安全・安心を守るため、迅速に活動が行えるよう消防技術の研鑽を図っています。

昨年は新型コロナウイルスの影響で活動が制限されましたが、消防訓練も徐々に再開され、今期はポンプ操法審査会も予定されています。それぞれ正業を持ちながら消防団活動に励んでおり、団員のモチベーションの維持と連携がとても重要となります。

今期は新たに2名の新入団員も加わり、各団員が一丸となって、今まで諸先輩方が築き上げてきた信頼を受け継ぎ活動して参ります。地域防災の要として、皆様が安心して暮らせる街づくりの助けになれるよう頑張りますので、消防団活動へのご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

(担当 一分団)



副分団長
小野 裕輝



分団長
吉岡 富

第二分団 紹介

箱根ヶ崎地区管轄 分団長 山内 稔啓 副分団長 根岸 智也
第二分団は、箱根ヶ崎地区を担当しています。

今年は、まだ続くコロナ禍ではありますが、少しずつ緩和されつつありますので、分団としましては心機一転、初心へ帰り消防活動に力を入れていきたいと思っています。

今期も新たに4名の新入団員が加わり団結を深めるとともに規律ある第二分団を築き、町の為、協力し頑張ります。

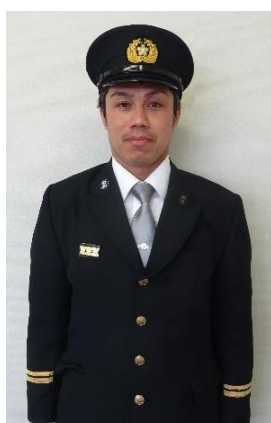
箱根ヶ崎地区は、瑞穂町の中でも人口が多い地区であり、箱根ヶ崎駅や各街道が交差し、町の中心地となります。

また、狭山神社や、円福寺等の文化財もあり、とても歴史ある地区です。日々訓練を重ね、箱根ヶ崎地区、ひいては瑞穂町全体の安全・安心の為、団員一丸となり活動に取り組んでいきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

(担当 二分団)



副分団長
根岸 智也



分団長
山内 稔啓

第三分団 紹介

日頃より地域の皆様には消防活動に対し多大なご理解とご協力を頂き心より御礼申し上げます。

第三分団は、石畑地区(石畑・武蔵)、武蔵野地区(むさし野・南平)の広範囲に及ぶ二つの地区を担当しています。

近年は、新型コロナウイルスの影響により消防団の活動も中止や制限がありました。火災や自然災害に備え、幅広い知識や技術を習得すべく団員一人一人が「自分たちの町は自分たちで守る」という考えの基、日夜訓練や防災活動に励んでおります。また、前回中止になった操法審査会が今期は実施されます。それに伴い、平日の夜間訓練を石畑防災広場にて実施させて頂くこととなりました。隣接する住民の方々には、ご迷惑をお掛け致しますが何卒よろしくお願い致します。

今期より2名の新しい仲間を加え、団員一丸となり消防活動を行うことで、今後とも地域住民の皆様へ、より一層の「安全・安心」な暮らしをお届けできるよう活動してまいります。

(担当 三分団)



副分団長
吉岡 聡



分団長
村上 竜一

第四分団 紹介

第四分団は、武蔵村山市との境である殿ヶ谷地区を担当しています。団員構成は会社員、自営業、公務員、年齢も20代から40代と世代や職種の垣根を超えた団員が在籍しています。今期は、2名の新たな団員が入団し、これから消防団員として様々な活動を行っていきます。

消火栓・防火水槽の水利点検や、瑞穂町消防団全団での消火訓練、防災訓練、操法審査会等の活動を行い、火災・自然災害の有事の際には、力を発揮できるよう励んでいきたいと思っています。

点検、訓練のない日には、旅行、バーベキュー等で懇親を深めたりもしています。

自分達に出来る事、求められている事を今一度振り返り、団員一同、町民の皆様の財産、生命の安全・安心を守るよう努力していきますので、これからも消防団に対するご理解とご協力をよろしく願っています。

(担当 四分団)



副分団長
三浦 卓



分団長
中野 好和



副分団長
細渕 通秀



分団長
亀野 正弘

第五分団 紹介

第五分団は瑞穂町北部の元狭山地区（二本木町、富士山町、高根町、松山町、駒形町及び栗原町）を担当し、広さは町の面積の約4分の1に相当する433ヘクタールです。分団詰所は第三小学校の北東に位置し、東京狭山茶をイメージした鮮やかな緑色が特徴です。

基本活動は毎月の町内巡回や水利点検ですが、各種訓練を通じて災害に備えています。特に、狭山丘陵は土砂災害特別警戒区域や急傾斜地が存在し、不老川も流れているため、自然災害による風水害や土砂災害に備え、訓練に励んでいます。

団員の年齢や職業も様々で、昨年度は新型コロナウイルスの影響により開催できませんでした。バーベキューやフットサルなどで絆を深め、士気高揚を図っています。皆様の安全・安心を守るために邁進して参りますので、第五分団をよろしく願います。また、「地域に貢献したい」「消防団に興味がある」「レクリエーションが大好きだ」どれか一つでも当てはまる方は是非一緒に活動しましょう！

(担当 五分団)